ケモセーフロックで しっかり対策

抗がん薬投与システム

ケモセーフロック™ 操作手順

調剤

●使用方法の詳細は、添付文書をご覧ください。

TERUMO

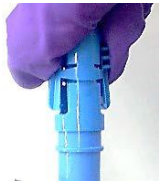
使用器具

コネクターの使用方法

接続時

音で接続確認！
カチットロック®

外す時



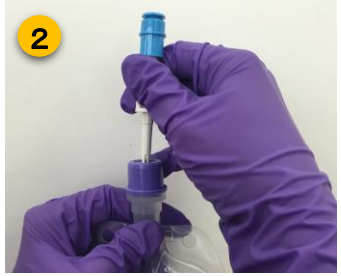
ロック解除部を指で
押さえて外す

液体製剤の調製は、⑦～⑩が不要

1

バッグスパイクのびん針のプロテクターを外す。

2

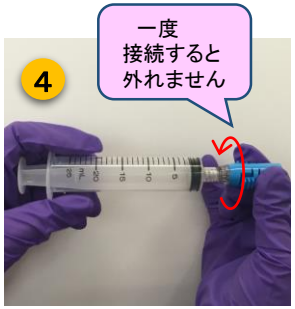


バッグスパイクを輸液剤容器のゴム栓に刺す。

3

コネクター（オス）のキャップを外す。

4



シリンジにコネクター（オス）を確実に接続する。

5

バイアルアダプターの保護キャップを外す。

6

バイアルアダプターをバイアルのゴム栓に刺す。

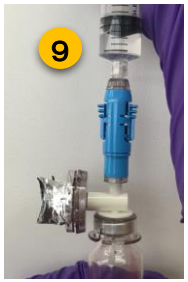
7

バイアルアダプターのバルーン部分のカバーを外す。

8

輸液剤容器に刺したバッグスパイクとシリンジに接続したコネクター（オス）を確実に接続し溶解液を採取する。

9



シリンジに接続したコネクター（オス）とバイアルアダプターを確実に接続し溶解液を注入する。

10

バイアルを振って薬剤を溶解する。

11

バイアルを逆さにして、シリンジに薬液を採取する。

12

薬剤の入ったシリンジのコネクター（オス）をバッグスパイクに接続し、薬液を混注する。

13

密封できる容器に入れ払い出す。

ケモセーフロックで しっかり対策

抗がん薬投与システム

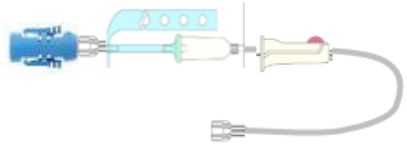
ケモセーフロック™ 操作手順

投与

TERUMO

使用器具

ケモセーフロック
バッグスパイク



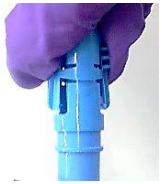
ケモセーフロック輸液セット

コネクターの使用方法

接続時

音で接続確認！
カチットロック®

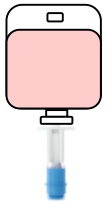
外す時



ロック解除部を指で
押さえて外す

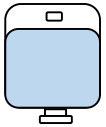
薬剤部からの払い出し

抗がん薬



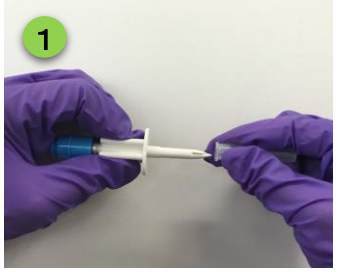
バッグスパイクが付いてる

前投与薬など

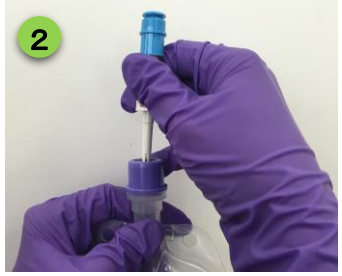


バッグスパイクが付いてない

前投与薬などバッグスパイクがついてないもののために①②

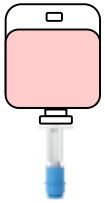


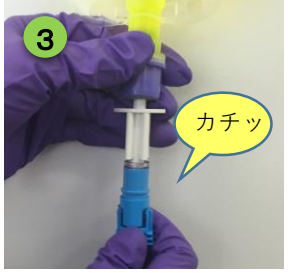
バッグスパイクのびん針のプロテクターを外す。



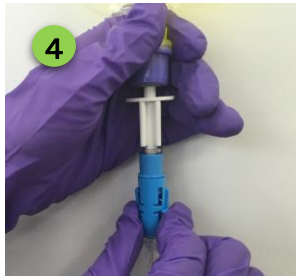
バッグスパイクを輸液剤容器の
ゴム栓に刺す。（バッグは下にして刺す）

抗がん剤はバッグスパイクが刺さった状態



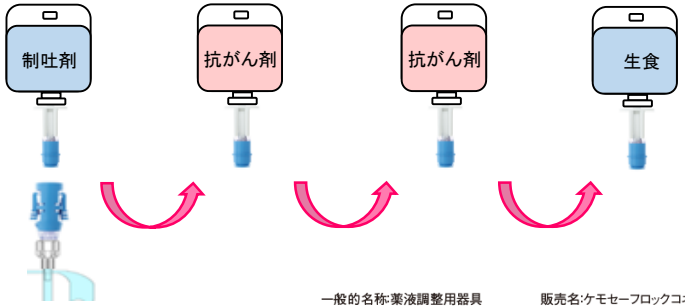


バッグスパイクにケモセーフロック輸液セットのコネクターをまっすぐに接続する。



バッグ交換時は、コネクター（オス）のロック解除部を指で押さえて外す。

例：制吐剤→抗がん剤→抗がん剤→生食の場合



＊生食の**バッグスパイク**は
制吐剤で使ったもの
を刺し替えておく。

一般的名称:薬液調整用器具	販売名:ケモセーフロックコネクター	医療機器届出番号:13B1X00101000073
一般的名称:薬液調整用器具	販売名:ケモセーフロックバイアルアダプター	医療機器届出番号:13B1X00101000074
一般的名称:薬液調整用器具	販売名:ケモセーフロックバイアルアダプター（フィルター式）	医療機器届出番号:13B1X00101000075
一般的名称:調整用薬液注入コネクタ	販売名:ケモセーフロックバッグスパイク	医療機器届出番号:13B1X00101000076

TERUMO ケモセーフロックは
テルモ株式会社の商標です。
ケモセーフ、カチットロックはテルモ
株式会社の登録商標です。
©テルモ株式会社 2017年5月

17GH010

製造販売業者：テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1 http://www.terumo.co.jp/